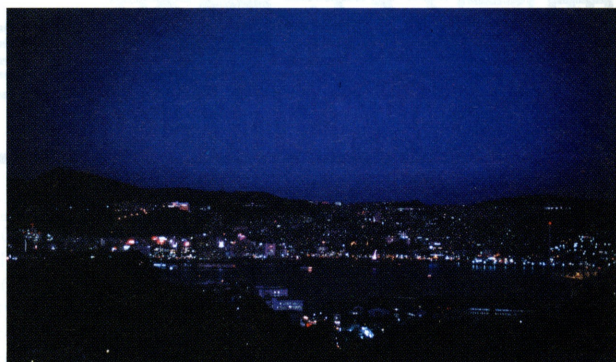




山野辺 裕二

国立成育医療センター病院 医療情報室長
(長崎大学医学部・歯学部附属病院 医療情報部より6月から異動)



看護の日というと、「星に願いを。」という映画を思い出します。函館の夜景が印象的。でも長崎では星空のような夜景が見られます。

【第3回】

「医師の日」をつくろう

5月12日は看護の日、それを含む1週間を看護週間といいます。医療機関の内外でイベントが開催されているのでご存じの方も多いと思います。でも、「医師の日」、「医療の日」というのは耳にしませんね。それでは作ってしまおうというのが今回の企画です。

●看護の母の誕生日

5月12日はナイチンゲールの誕生日ということで、1965年に国際看護師協会がInternational Nurses' Dayというのを決めました。日本でも「看護の日の制定を願う会」の運動を受け、1990年に厚生省が「看護の日」を制定したとのことです。

「願う会」の要望書には、この日は「看護婦の日」ではなく医師その他を包含した広い意味の「看護」だと書いてあります。とはいえ「看護の日」と聞いて誰もが連想するのは白衣の看護師の姿です。そこで、ここではあえて「医師の日」にこだわってみましょう。「医療の日」では看護の日と重なった内容になってしまいます。

●市場調査を忘れずに

国際的にも医師の日はないのでしょうか。どうやら米国その他では3月30日あたりにDoctor's Dayというのがあるようですが、それほどポピュラーではないようです。私も今まで知りませんでした。

参考になりそうな「医師の日」はなさそうなので、日本記念日協会というところにどんな医療関係の記念日があるのかを問い合わせ、私が適当に抜粋してみました。

| | |
|----------------|--------------------|
| 尿もれ克服の日／2月20日 | 鼻の日／8月7日 |
| 耳の日／3月3日 | 歯並びの日／8月8日 |
| 歯列矯正の日／4月2日 | 鍼・灸・マッサージの日／8月9日 |
| 世界保健デー／4月7日 | 救急の日／9月9日 |
| 柔道回復の日／4月14日 | 歯科技工士記念日／9月24日 |
| よい歯の日／4月18日 | ワンちゃんハッピーの日／10月2日 |
| 看護の日／5月12日 | イレバデー（入れ歯デー）／10月8日 |
| 種痘記念日／5月14日 | 骨と関節の日／10月8日 |
| 生命・きずなの日／5月17日 | いい歯ならびの日／11月8日 |
| 虫歯予防デー／6月4日 | 胃腸の日／12月11日 |

いかがですか。業界では多岐にわたり、しつこいくらい記念日が提唱されています。ぜひ医師の日も作らねばなりません。

●医学の父の誕生日？

すると、次にくるのはいつを医師の日とするのかということですね。二、三考えてみました。

1月4日

「イシ」の語呂合わせで1月4日はどうでしょう。でも正月早々、仕事始めに記念日では、忙しくてダメですね。

9月19日

看護の日がナイチンゲールなら、医師の日にもまずふさわしいのはヒポクラテスの誕生日でしょう。9月19日という説がありますが、はっきりしません。紀元前の話ですし。もし確実ならとくにこの日が「国際医師の日」になっているでしょうから、9月19日をとるには勇気がいりそうです。

●母の日父の日ホワイトデー

6月には父の日があります。これは「母の日」運動が先にあって、その後に生まれてきたものようです。日程的にも父の日が後ですよ。また今ではすっかり国民的行事(?)になったホワイトデーも、もとは単にバレンタインデーの1ヵ月後にすぎません。この両者の関係のように、単に看護の日に続いて医師の日があってもよいように思います。

命に寄り添う看護の心に思いを馳せる記念日への敬意もこめて、看護の日の1ヵ月後である6月12日を「医師の日」にしてはどうでしょう。「看護の日が過ぎたら、医師のこともちょっとは思い出してね」というニュアンスです。幸い競合する手ごわい記念日もなさそうです。さらには看護の日から医師の日までの1ヵ月を「看護と医療を考える月間」にしたってよいではありませんか。

いかがでしょう。もしご賛同いただけるようなら、6月12日を「医師の日」とする運動を手の届く範囲からささやかに始めませんか。新任の医師に白衣を着せる催しを開くとか、職場の優秀医師を表彰するとか。

あーでもこんなことを書くと日本看護協会あたりからお叱りを受けそうです。別に対抗したいと思っているわけではありませんし、ホワイトデー程度の軽いノリで思いついたことなのです。

今、編集部へ抗議文を書き出したそこのあなた、許してください。お願いしますよ。

1986年長崎大学卒業。形成外科の勤務医として九州、四国の病院に勤務後、96年長崎大学病院形成外科助手。99年に念願の医療情報部門へ転籍、2000年長崎大学病院医療情報部副部長。03-04年米国マウントサイナイメディカルセンター医療情報学研究員。05年6月より現職。専門は医療情報学と病院管理学。自称外来語研究者、医療ジャーナリズム評論家。

